
R-18
adult only
SPRING
FRAGRANCE
PART 2
LALIBERTE








下の玉も
忘れるな
ペロッ♥
うぅっ♥
はぁ♥
女女♥
レロッ♥
ハハハッ
教え甲斐があるのう
ハハ
はぁ♥
ちゅっ♥
ちゅろっ♥
ん♥
うむ…
呑み込みが早いのう
李夢龍(イモンニョン)か…
くくくっ…
めまいがするほど
強くて汚い匂い…
あ♥
うっ♥
レロレロ♥
ムギュッ♥
ムギュ♥
おおお…
これは中々…
だけど舌使いは
まだまだじゃな
そうそう
乳房はもっと寄せろ
シコ♥
シコ♥
手を休めるな
ちゃんと上下に動かせ



※御史…王の特命を受けた隠密検察官
※馬牌…御史の証


二年も戻っていない
ということは
落第し続けている
ということじゃろうな
さあ
口を開けろ
全部飲め
ビュルッ♡
はあ♡
あ♡
旦那様なら必ず
成し遂げて下さる
何年かかろうと…
必ず…
オゴッ♡
オゴッ♡
オグッ♡
ハアーッ♡
ハアーッ♡
旦那様への…
想いだけは…
体は汚されても…
肉欲だけが残る
じゃろうからな
無駄な希望は
捨てるのが
身のためじゃ
夢龍（モンニョン）の記憶は徐々に
お前の中から薄れてゆき

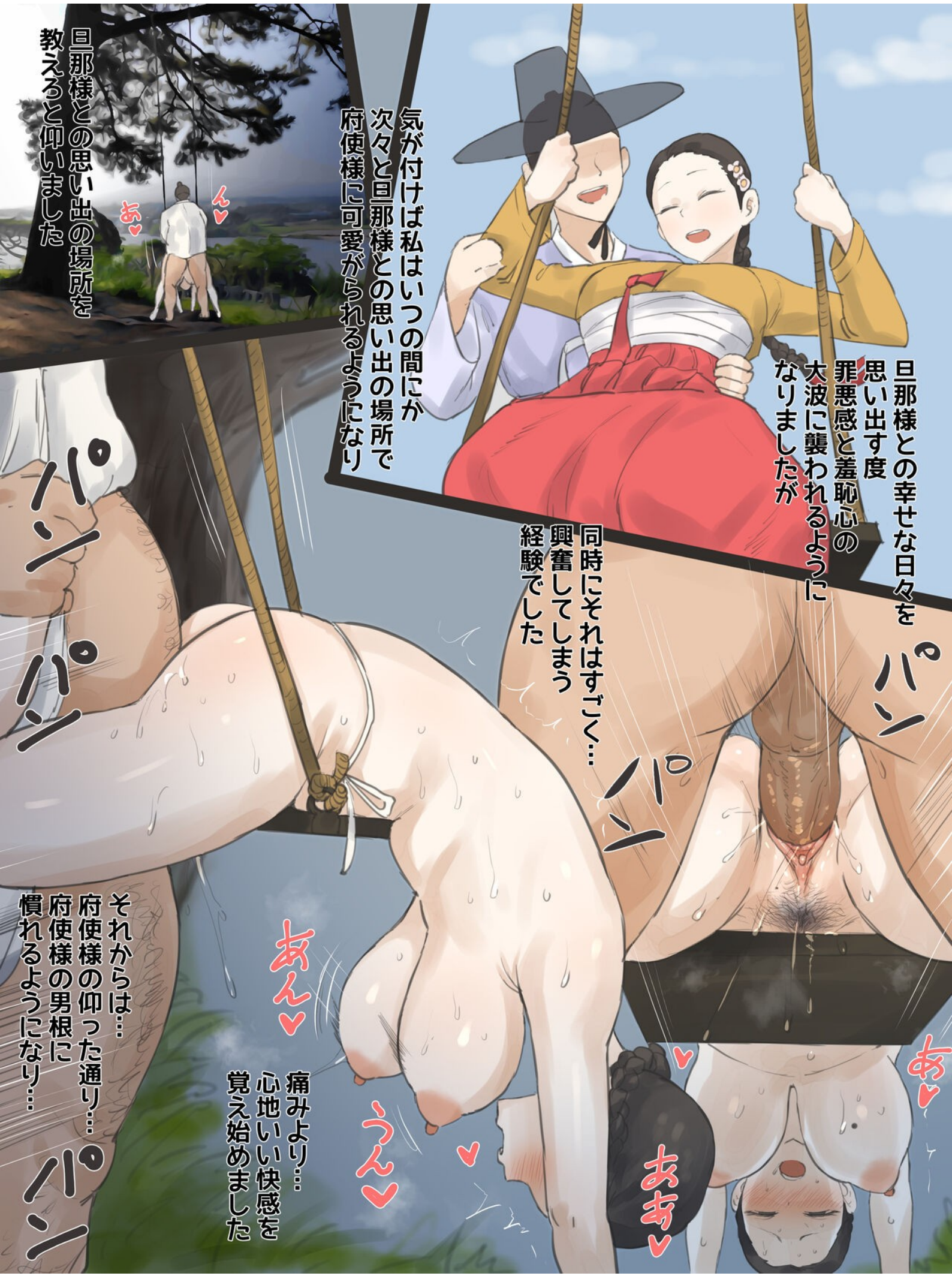

怪しからん
牝穴だ
くにゅっ
あん
内心気になって
仕方ないんじゃろう
股を開け男を迎え入れる
その感覚がのう
陰核が膨れ上がっとる
男根を咥えただけで
交尾の準備が整っておるとは
あ
あん
あぁ
ん
うっ
あ
ち、違います…
そんなことは…!!
ぬりゃ
ぬりゃ
男根を擦れるだけで
濡れ濡れだというのに
よく言えたものじゃのう
我慢…
しなきゃ…
うっ…また…
前みたいに…
ビクッ
ほら、口にして
はっきり言って
見たらどうじゃ
あぁ
あ
はぁ
あ
男根が欲しいと
我慢…


どうか…中に…
入ってくださいませ
ドクン
私の不貞を…
どうか…お許してください
ドクン
あぁ♥
欲しいでございます…
…旦那様…
ドクン
男根が…
ドクン
クハハハハッ　これは
予想以上の一品じゃのう
やめ…!!
ギチィッ♥
痛…痛いです!!
おお…
いい締まり具合じゃ…!!
ズブブ…
い、痛っ…!!


大きすぎて…
中が火傷しそう…
ううっ…
苦…しい…
あぁあ♥
じゅるーっ♥
ビクッ♥
ビクッ♥
はぁ♥
ガクガク
全部覚えるのじゃ
つまり…
本番が始まる前に
わしの形、重さ、
そして温もりまで
奥の方がどんどん
わしに慣れていくのが
分かるじゃろう？
じっとしてわしの形を
感じてみるといい
締まりがどんどん
良くなっている…
あぁ♥
じわー♥
はぁ♥
はぁ♥


…
今出発しても一か月は掛かるだろうに…船賃はちゃんと用意してくだされ
わしの専用になるということじゃくくくくっ
痛っ…！
痛い…痛いでございます
お前の牝穴がわしの男根を咥えているのが見えるか？
さぁ頭を上げて見てみるが良い
あぁ♥
あ♥
あん♥
はあー♥
感じる…府使様のものが…中を掻き回しているのが…！
こんな感覚…変…息…苦しい…!!
うむ…！締め付け方が分かってきたようじゃのう!!
パン
パン
パン


安心せい
慣れるまで何回でも
付き合ってやろう
あぁ♥
あん♥
パンパン
痛みが徐々に
快楽に変わって
行くのが分かるか？
あん♥
はん♥
うっ♥
時の流れを
忘れてしまうほど
気を失って
取り戻すことを
何度も繰り返し
パン
パン
府使様はそれからも
まるで淫欲の獣のように
私の中を掻き回し続けました
あぁん♥
そしてその日から
府使様は…
ドロッ♥
ずっとずっと府使様は
私の身も心も絶え間なく
貪り続けたのです


旦那様との幸せな日々を
思い出す度
罪悪感と羞恥心の
大波に襲われるように
なりましたが
同時にそれはすごく…
興奮してしまう
経験でした
気が付けば私はいつの間にか
次々と旦那様との思い出の場所で
府使様に可愛がられるようになり
旦那様との思い出の場所を
教えろと仰いました
あ♡
ん♡
パン
パン
パン
パン
あん♡
うん♡
あ♡
あ♡
痛みより…
心地いい快感を
覚え始めました
それからは…
府使様の仰った通り…
府使様の男根に
慣れるようになり…


あぁ♥
んにゅっ♥
あぁ♥
ぁ♥
ぁ♥
ぅぅ♥ん♥
はい…っ
気持ちいいところを
たくさん教えられました
乳首とか
陰門の奥の方とか
そんな風に…
仰らないで
ください…
くちゅ♥
くちゅっ♥
くちゅっ♥
旦那様と初めて
口づけを交わした
あずま屋でも
夢龍（モンニョン）とはこういうのも
したことがないじゃろう？
情けない奴め…
「男の恥」とはまさに
そやつのための言葉じゃな
これからお前の牝穴の奥は
わしとお前だけの空間じゃ
いいな？
あ♥
あ♥
…膣の…中が…っ
気持ち良いですっ…!!
頭では違うと
否定しつつも
お♥
あ♥
ん♥
どこがどう良いのか
言ってみろ
ぢゅるっ♥
あぁ♥
あ…!!
そこ…!!
良いっ…!!
んぱぁ♥


耳の裏や乳首…陰核に
膣の奥の気持ちいい所まで
その全てが
目覚めさせられる感覚は
実に素晴らしい快感でした
少しづつ
私を蝕んで行きました
次々と襲ってくる
恍惚たる快感の波は
自分で動いてみろ
どんな気分じゃ？
とても…
気持ち良くて…!!
は、はいっ…
穴が…穴が
喜んでいます
気持ち良いです
府使様…!!
ああ…良い…っ!!
あぁ♡
にゅっ♡
あぁ♡
ぎゅっ♡
ぐちゅ♡
ぐちゅ♡
ぺろっ♡
パン♡
パン♡
パン♡

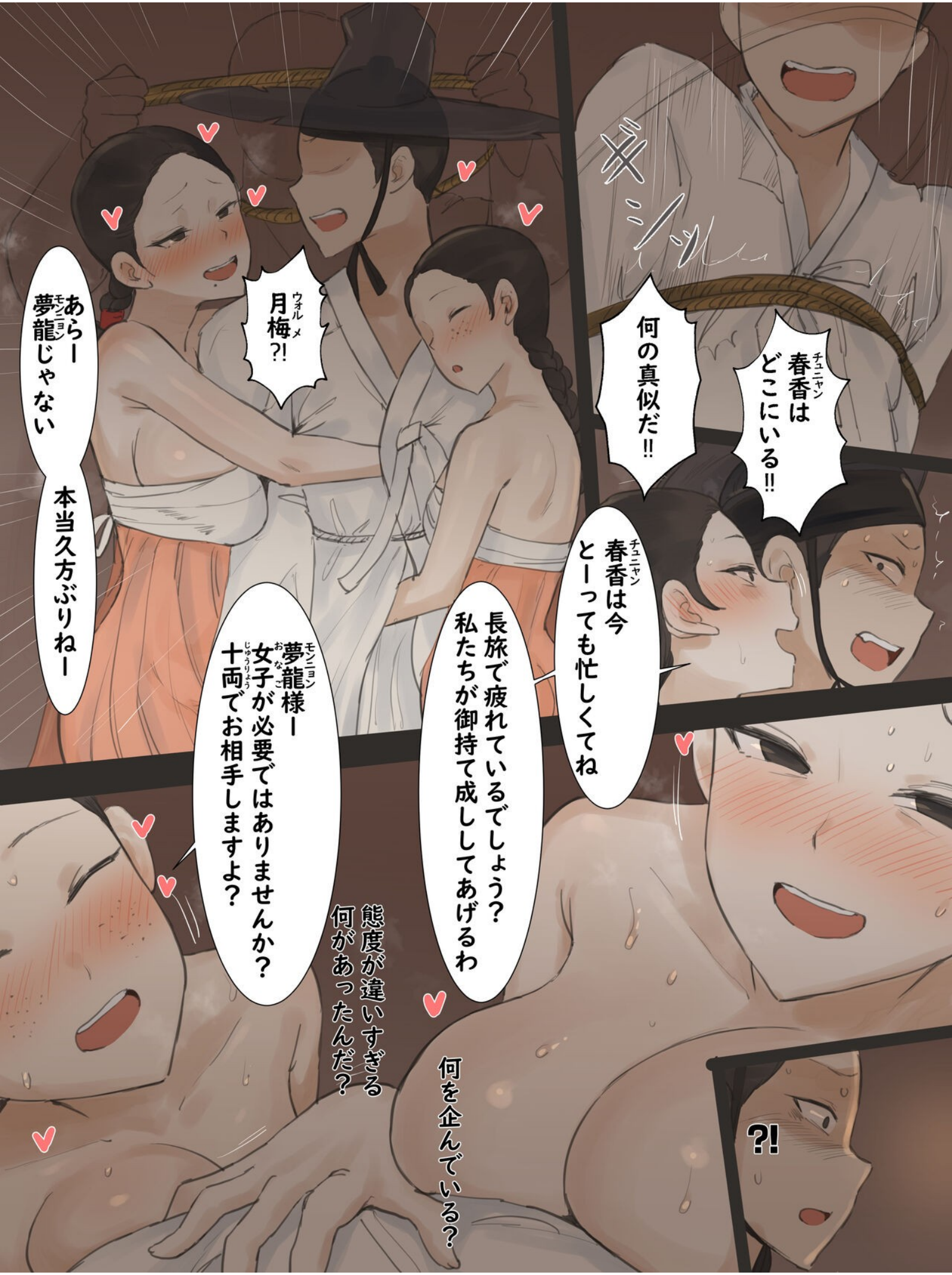

おっと
わしの許可無しで
達するのは許さんぞ？
もう少し慎みを
覚えるんじゃな
くくくっ…
私が絶頂を迎える直前に
行為をやめるようになりました
だけど…
ある日を境に
府使様は…
府使様の男根を
求めてしまう
私自身でした
わざとそうしているのだと
気づいてすごく悔しかったのですが
それよりももっと悔しかったのは…
旦那様との
思い出の場所でさえ
ほれ
早く綺麗にせんか
今日は疲れているから
ここまでじゃ


もっと入れて欲しいか？くくくっ…
お前の旦那よりも？そんなに男根が恋しいか？
ふうっ…!!
お願いします…あと少し…あと少しだけ…もっと入れてください…
府使様は決して私が絶頂に達することを許してくれませんでした
今日はここまでだ
次の日も…その次の日も…
またその次の日も…
ああ!!府使様!!もう少し…もう少しで行きそうです!!
はうっ!!
はあ♪
あ♪
あっ♪
うっ♪
はあ♪
あ♪
あん♥
あ♪
あ♪
キュン♪
キュン♪
ぬりゅ♥
ダラダラ♪
ダラダラ♪
ぽん♪
ゆら♪
ゆら♪
!!


くははっ
すっかり上手に
なったのう
いつの間にか頭の中には
府使様との交尾だけが
浮かぶようになりました
「こうして旦那様との思い出が
一つ一つ府使様との情欲で
塗り潰されていく内に
あ♡
はあ♡
ん♡
レロ♡
レロ♡
今日こそ必ず府使様を喜ばせて
今まで与えて下さらなかった
ご褒美を…!!
シコ♡
シコ♡
最後に絶頂を迎えてから
もう半月が過ぎたか…
くくくっ
あ…最高…!
ん♡
ハー
ん♡
スー
何度嗅いでも
うっとりしちまう…
ああ…
この男らしい雄の匂い…
ちゅ♡
シコ♡
ううっ…
ちゅっ♡
穴が疼いて
仕様がない頃じゃな


プリ♥
プリ♥
慎みの欠片もない
発情期の牝犬じゃのう
お尻を振りながらも
睾丸を舐め回すとは…
ん♥
うっ♥
ん♥
ん♥
チュッ♥
チュ♥
どうか今日は…♥
この太い一物で
私にご褒美を…!!♥
不審者が町でわしについて
調べているとのことじゃ
すぐにでもお前の
牝穴を掻き回したい気分は
山々なんじゃが…
官衙(カンガ)※に寄ってみないとな
?!
行かないで…
嫌…
※官衙:官庁のこと。
今日はもう充分じゃ
おお…
また新しい芸を
一つ覚えたか
偉いのう
はあ♥
あお♥
レロッ♥
ビクッ♥
レロッ♥
ちゅっ♥
レロ♥
ちゅる♥


府使様…
いや、旦那様…!!
そんな…
滅相もございません!!
私はいつまでも
旦那様の忠実な牝犬です!!
子を孕めと仰るならば
身籠るまで何度でも
旦那様の子種を
お受け取りします…!!
どうかこの卑しい小娘に
旦那様にご奉仕できる
機会をくださいませ!!
口では何とも言える
お前がわしを裏切らない
という保障がどこにある?
あぁ
お願いします…
どうか私の体を…
私の牝穴の奥を…
もう一度掻き回して
くださいませ
卑しい退妓(たいぎ)の娘の分際で
操を立てるなど
生意気な真似をして
本当に申し訳
ございませんでした
一生旦那様専用の女に
なります
どうかもう一度…!!
もう一度あの快楽を
お与えくださいませ!!
灯かりが?!
戻るまでこんなにも
時間が掛かってしまう
とはな…
僕たちが
将来を約束した場所…


春香(チュニャン)はどこにいる!!
何の真似だ!!
春香(チュニャン)は今とーっても忙しくてね
長旅で疲れているでしょう?私たちが御持て成ししてあげるわ
夢龍(モンニョン)様ー女子(おなご)が必要ではありませんか?十両(じゅうりょう)でお相手しますよ?
態度が違いすぎる何があったんだ?
何を企んでいる?
?!
月梅(ウォルメ)?!
あらー夢龍(モンニョン)じゃない
本当久方ぶりねー


あれが春香だと？
馬鹿を言え!!
パン
パン
パン
あ♥
ん♥
ほら
あそこに春香(チュニャン)が
見えるじゃろう？
あ♥
あああん♥
あ♥
どうやら今日は
府使様の子を孕む
つもりらしい
もう何時間も
休まずに
腰を振っているのだから
バチュ♥
バチュ♥
チュッ♥
ん♥
ああ…いい…!!
気持ちいい…!!
太くて…
大きくて…
気持ちいい!!
春香があんな…
あんな下品な声を出すはずが…

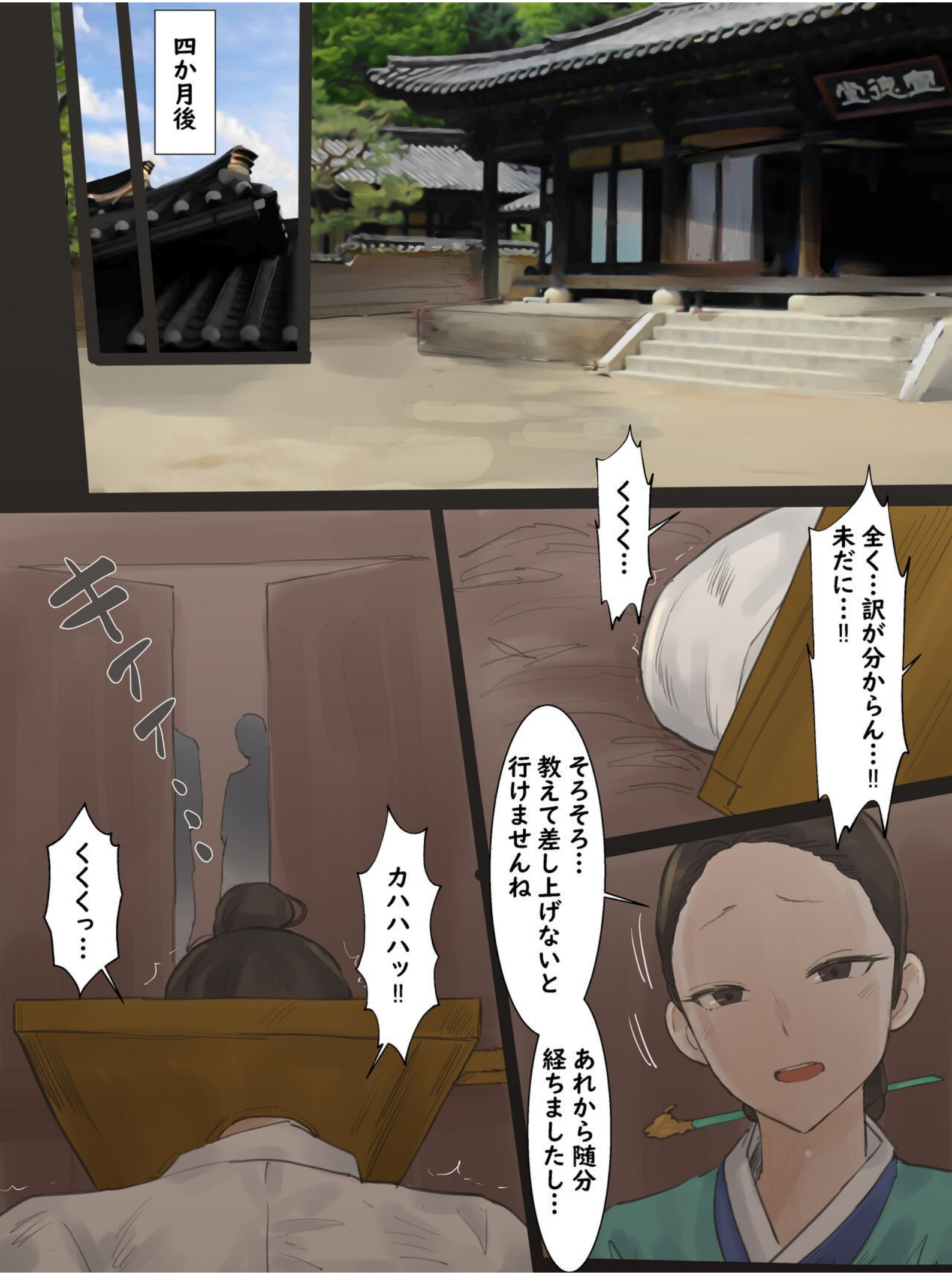

今まで何度も
手紙を送ったのに
返事が全くなかった!!
春香は今どこにいる!!
オッ♥
パン
オゴゴッ♥
パン
オオッ♥
あら、ちょうど今
もう一度子種を
頂いたようだね
嘘だ!!
あんなのが
春香なはずがない!!
騒々しいのう
キイッ…
もう遅い
私からの最後の忠告よ
酷い目に遭う前に
立ち去るのが身のためよ
まぁだ私が全部
燃やしていることに
気付いてないようだね
くっ!!
水ぼらしい身なりを見ると
科挙にも落ちたんでしょう?
没落両班(ヤンバン)の倅のくせにね
それでよく
帰ってくる
勇気が出せたものね
素直に感心するわ


ほれ
お前が切実に待っていた
夢龍(モンニョン)が帰ってきたようだぞ?
挨拶くらいしてやれ
オゴッ♥
オッ♥
オゴッ♥
?!
陰門と乳房のほくろ…
間違いない…
春香だ…!!
でも…本当に…
お前なのか…?!
春香…!!
パン
パン
パン
どうして!!


夢龍との五年より…
府使様との一か月が…
もっと大切になっちまった…
本当に…
ごめんなさい…
パン
パン
府使様との不貞を…
楽しみました…
パン
一か月の間…
ずっと…毎日毎日…
耐え切れなかった…
府使様の一物に…
掻き乱されて…
夢龍(モンニョン)…
ごめんなさい…
あ〜
あ〜
あん
あ〜
違う…
時間を掛けすぎた
僕が悪かったんだ!!
あ〜
府使様の…
女になっちまったの…
あ〜
ん
私は…もう…
すっかり…


もう少し…
もう少しだけ…
もう少しだけで
充分だったのに…!!
オ…オゴゴッ…
く…来る…!!
あぁん♡
あぁん♡
あぁ♡
あぁ♡
あぁ♡
あぁ♡
あぁーん♡
もうやめろォォ!!
どうか…あなたの子宝を…
私に授けてくださいませ
ああ…嬉しいです
旦那様…
あっ…!!
行きそう…!!
行くっ…
行きそうです
旦那様!!
ほれ
その記念にお前が欲しがる
わしの子種をお前の中に
ぶちまけてやる
感動的な再会じゃな…
ああ
思う存分
行けェ!!
パン
パン
パン
パン


オゴッ♥
オオッ♥
キュン♥
ビュルッ♥
ビュルルッ♥
ビュッ♥
暗行御史（アメンオサ）のお出ましだ!!


四か月後
全く…訳が分からん…!!
未だに…!!
くくく…
あれから随分
経ちましたし…
そろそろ…
教えて差し上げないと
行けませんね
カハハハッ!!
くくくっ…
キィィ…


本物の馬牌(マペ)!!
どうしてそれを
お前が?!
ただ…私はこれから生まれるだろう
子を想って夫を守ったに過ぎません
私は…旦那様の合格を
確信していました
ずっと信じていましたから
馬牌(マペ)を偽物に
すり替えるため…!!
春香(チュニャン)の差し金で!!!!
ごめんなさい
いつも理性より
感情で動く方でしたから
旦那様を騙すのは
とても簡単でした
まさか…
あの時…!!
月梅(ウォルメ)と香丹(ヒャンダン)の様子が
おかしかったのは…


誰にも分かってもらえず
虚しく散ってしまっても
おかしくないでしょう
ぶる
ぶる
たとえ濡れ衣を
着せられた
だけだとしても
偽物の馬牌(マペ)で
王命を受けた御史を詐称した罪…
嘘…だ…
スー
そんなに悲しまないでください
旦那様…
世間的にはもう死人同然だとしても
春香(チュニャン)…早く
その馬牌(マペ)を渡してくれ…
今でも…遅くない…
タッ
まだ…間に合う…!!


キュン
旦那様がここで寂しい思いをしないように
三人で一生見守って差し上げますから
終わり


下の玉も
忘れるな
ペロッ♥
うぅっ♥
はぁ♥
女女♥
レロッ♥
ハハハッ
教え甲斐があるのう
ハハ
はぁ♥
ちゅっ♥
ちゅるっ♥
ん♥
うむ…
呑み込みが早いのう
李夢龍(イモンニョン)か…
くくくっ…
めまいがするほど
強くて汚い匂い…
あ♥
うっ♥
レロレロ♥
ムギュッ♥
ムギュ♥
おおお…
これは中々…
だけど舌使いは
まだまだじゃな
そうそう
乳房はもっと寄せろ
シコ♥
シコ♥
手を休めるな
ちゃんと上下に動かせ


既に合格しているとしても
わしと張り合いたければ
あっ♥
寛大な気分に
なってしまうのう
だけど
お前の乳房に
包まれると
ムチュ♥
わしがその気になれば
その若造を不合格にするのも
容易いこと
ムチュ♥
ムギュッ♥
御史※の馬牌※くらいは
持ってこないと
話にならないじゃろう
あぁん♥
ビュルッ
ビュルッ
女あ♥
あ♥
さあ
わしの子種じゃ
受け取れイ!!
ギュッ♥
※御史…王の特命を受けた隠密検察官
※馬牌…御史の証


二年も戻っていない
ということは
落第し続けている
ということじゃろうな
さあ
口を開けろ
全部飲め
ビュルッ♡
はあ♡
あ♡
旦那様なら必ず
成し遂げて下さる
何年かかろうと…
必ず…
オゴッ♡
オゴッ♡
オグッ♡
ハアーッ♡
ハアーッ♡
旦那様への…
想いだけは…
体は汚されても…
肉欲だけが残る
じゃろうからな
無駄な希望は
捨てるのが
身のためじゃ
夢龍（モンニョン）の記憶は徐々に
お前の中から薄れてゆき


どうか…中に…
入ってくださいませ
ドクン
私の不貞を…
どうか…お許してください
ドクン
あぁ♥
欲しいでございます…
…旦那様…
ドクン
男根が…
ドクン
クハハハハッ　これは
予想以上の一品じゃのう
やめ…!!
ギチイッ♥
痛…痛いです!!
おお…
いい締まり具合じゃ…!!
ズブブ…
い、痛っ…!!


大きすぎて…
中が火傷しそう…
ううっ…
苦…しい…
あぁあ♥
じゅるーっ♥
ビクッ♥
ビクッ♥
はぁ♥
ガクガク
締まりがどんどん
良くなっている…
じっとしてわしの形を
感じてみるといい
奥の方がどんどん
わしに慣れていくのが
分かるじゃろう？
本番が始まる前に
わしの形、重さ、
そして温もりまで
全部覚えるのじゃ
つまり…
あぁ♥
じわー♥
はぁ♥
はぁ♥


…
今出発しても一か月は掛かるだろうに…船賃はちゃんと用意してくだされ
わしの専用になるということじゃくくくくっ
痛っ…！
痛い…痛いでございます
お前の牝穴がわしの男根を咥えているのが見えるか？
さぁ頭を上げて見てみるが良い
うむ…！締め付け方が分かってきたようじゃのう‼
感じる…府使様のものが…中を掻き回しているのが…！
こんな感覚…変…息…苦しい…‼
あぁ♥
あ♥
あん♥
はあー♥
パン
パン
パン
パン


安心せい
慣れるまで何回でも
付き合ってやろう
あぁ♥
あん♥
パン
パン
痛みが徐々に
快楽に変わって
行くのが分かるか？
府使様はそれからも
まるで淫欲の獣のように
私の中を掻き回し続けました
パン
パン
気を失って
取り戻すことを
何度も繰り返し
時の流れを
忘れてしまうほど
あん♥
はん♥
うっ♥
あぁん♥
そしてその日から
府使様は…
ドロッ♥
ずっとずっと府使様は
私の身も心も絶え間なく
貪り続けたのです


もっと入れて欲しいか？くくくっ…
はあ♡
あ♡
はあ♡
うっ♡
あっ♡
はあ♡
あ♡
あ♡
あん♡
ああ!!府使様!!もう少し…もう少しで行きそうです!!
はうっ!!
次の日も…その次の日も…
ゆら♡
ゆら♡
!!
またその次の日も…
お前の旦那よりも？そんなに男根が恋しいか？
キュン♡
キュン♡
ぬりゅ♡
ダラダラ♡
ダラダラ♡
ぽん♡
今日はここまでだ
お願いします…あと少し…あと少しだけ…もっと入れてください…
ふうっ…!!
府使様は決して私が絶頂に達することを許してくれませんでした


夢龍との五年より…
府使様との一か月が…
もっと大切になっちまった…
本当に…
ごめんなさい…
府使様との不貞を…
楽しみました…
一か月の間…
ずっと…毎日毎日…
耐え切れなかった…
府使様の一物に…
掻き乱されて…
夢龍（モンニョン）…
ごめんなさい…
パン
パン
パン
あ♡
あん♡
あぁ♡
違う…
時間を掛けすぎた
僕が悪かったんだ!!
府使様の…
女になっちまったの…
あ♡
あぁ♡
ん♡
私は…もう…
すっかり…







